

3.11を忘れない

INORINO KIZUNA

祈りの絆

第 51 号

2019年7月17日 全国発送

日本バプテスト連盟東日本大震災被災地支援委員会 <http://www.bapren.jp>

【震災募金口座】 振替 00140-9-180881
宗教法人日本バプテスト連盟総務部

「これからも、忘れずに ～ 百合丘キリスト教会の支援ご紹介」 百合丘キリスト教会 被災地支援委員会（細川 幸子）

百合丘教会では、2013年4月から支援委員会の活動を始めました。仙台の信徒による報告会をスタートに、被災されながら支援に奔走しておられた仙台長命ヶ丘教会と郡山コスモス通り教会の仮設住宅訪問に同行、また大槌、牡鹿半島支援など、現地での活動に延べ30名以上の教会員が参加させて頂きました。肌で感じた深刻な課題を教会に持ち帰り、祈りを共有してきました。

時と共に状況が変わる中、上記の二つの教会に具体的な要望を伺いつつ、ささやかなお手伝いを続け、現在は、クリスマス等にプレゼントを送る支援にシフトしています。昨年からは、大槌の仮設のお茶っこの会に、盛岡教会を通してプレゼントを届けて頂いています。遠い神奈川でも忘れないでいる人たちが居る、と知ること、少しでも笑顔になっていただけるならばとても嬉しいです。プレゼントは、お菓子などにブローチなどの手作り品を加えて、皆さんで袋詰めや発送をします。

何度か同行させていただく恵みに与った、金子千嘉世先生から学んだことは計り知れません。忘れられない言葉は、「震災が終わるとは、家に入れることなく、あの時生きていて良かったと、心から思えることです。出逢った方々の痛み・嘆きを是非教会に持ち帰り、

執り成しの祈りを捧げて下さい。この方たちを覚えていく、これが伝道です。」

徹底的に寄り添い通した先生の、天に召される直前の言葉は、「もっと優しく出来ないでごめんなさい。」であった、と伺っています。深く首を垂れるのみです。

被災された方々の、より深まっていく心身の痛み、孤独と、原発事故に苦しむ子どもたちへの未知数の影響が、今も深く懸念されます。「何故？」という問いに私達は答えられません。しかし、忘れずに執り成しの祈りを熱くしていく時、必ず神様は働いて下さると信じ、百合丘では、これからも「もういいですよ」と言われるまで、ささやかなお手伝いを細く長く続けていきたいと願っています。

今年のクリスマスには、手作りの雪だるまやお菓子を皆で発送しました。↓



現地支援委員会から ～ 「岩手県大槌町訪問のご報告」

現地支援委員会委員長 金丸 真

7月13日(土)に大槌町を訪問し、安渡公民館でお茶っこを行いました。盛岡教会、山形教会、南光台教会、西南学院大学キリスト教活動支援課の方々と訪問しましたが、地域から19人もの方々が参加してくださり、総勢30人のお茶っことなりました。なかには今回初めて参加した方もおられ、また、引きこもりがちだと言われている男性の参加も多かったことが印象的でした。

お茶っこでは、楽しいゲームをしたり、サクスの演奏を聴いたり、みんなで歌を歌ったりして、お互いの存在を喜びながら過ごしました。持参したお花や、百合丘教会と神奈川連合からのお菓子もとても喜ばれました。また、地域の方からの要望もあり、田中信矢牧師（南光台教会）が聖書からメッセージを語りました。メッセージを通して、神は私たちが耐えられないような試練をお与えにならないということを味わい、最後にはみんなで讃美歌「いつくしみ深き」を歌うことができたことも喜びです。

大槌町では、第8仮設住宅に住民を集約しているという情報ですが、しかしいまだにそれぞれの仮設住宅に住んでおられる方がポツリポツリとおられ、どこにどういふ方が住んでおられるのかわからないとの声も聞かれました。住まいを得て転居された方も、その地域でのコミュニティづくりに苦労されているようでした。お茶を飲みながら話題に上がることといえば、ご高齢の方が次々と亡くなっているということ。町の見た目には、道路が整ったり商業施設ができたりしていますが、様々な理由で、心にさみしさを抱えている方もおられるのだと思います。次回は12月に訪問したいと考えています。引き続きお

祈りとお支えをお願いいたします。



キッチンカー（なごみカフェ）の今

震災支援で購入したキッチンカー（なごみカフェ）は、公益財団法人「共生地域創造財団」（奥田知志理事長）にお願いし、避難解除後の福島県川内村のコミュニティづくり支援のために用いていただけていました。今般、引き続きこの働きを支援するためにキッチンカーを同団体に譲渡することとなり、第1回理事会で同財団よりご報告と感謝状をいただきました。（バプテスト誌8月号）写真（右）は川内村のお茶っこ風景

写真（右）は川内村のお茶っこ風景



2018年度震災募金報告 661.6 万円（目標600万円）200名・件の方々からお献げいただきました。ここから感謝申し上げます。

2018年12月～2019年3月 募金者 125名・件（受付順、敬称略）

宮崎、大村古賀島、目白ヶ丘、現地支援委員会 有田ゴスペルワイア、市川大野、東福岡幼稚園、横浜戸塚、市川八幡、日立、神戸 光の丘幼稚園、府中、調布、福岡南、春日原、久保祐子、広島、東京第一、恵、若松教会神愛幼稚園、四日市、久留米、神戸、那覇新都心、西南女学院中学・高校、飯塚、浜松、福岡西部、小倉、大分、伊都、伊集院、人形げきや おたこ組、トリニティベルクワイア北九州田中、福岡女学院 中学・高等学校、姫路城西、乳幼児サークル「さくらんぼ」、宝塚、古賀、相浦光、福岡ベター村、仙台長命ヶ丘、前橋、若松、調布、学）西南学院、道後、釧路市民クリスマス 募金、佐世保 愛と平和のコンサート、福岡、丸亀城東町、門司港、横須賀長沢、高崎、静岡、港南めぐみ、シオン山、徳島、三島、シオンの丘、鳥飼、学）西南学院高等学校、調布、学）西南女学院、福岡城西、武林敬・真智子、仙川、日立、豊橋、福岡有田、相浦光、福岡地方連合 女性会、久保祐子、岡山、筑紫野南、別府国際、学）西南学院、奈良、シオンの丘、企救、大宮、秋田、目白ヶ丘、浦和、神戸、恵泉、野方、東京北、鳥栖、シオンの丘、広島、東大阪、調布、八王子めじろ台、防府、東山、神戸新生、伊集院、沖縄バプ連盟女性会世界祈祷委員会、山形、国分、福岡、花小金井、筑紫野二日市、香住ヶ丘、清水栄光、百合丘、高崎、大井、洋光台、北大阪、久保田君代、仙台長命ヶ丘、大村古賀島、久留米荒木、福岡、大分、神戸伊川、筑波、相模中央、市川八幡、東京北、西川口、那珂川、直方、志村